

取扱説明書

ColorEdge® CG275W

カラーマネージメント液晶モニター

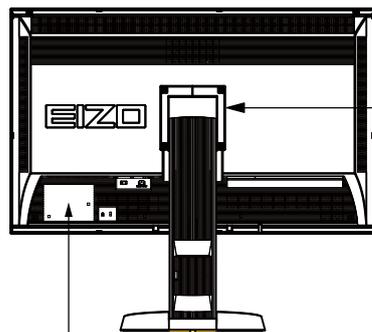
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.eizo.co.jp>



警告表示位置



 
CAUTION
Risk of electric shock. Do not open.
ATTENTION
Risque de choc électrique. Ne pas ouvrir.
ACHTUNG
Gefahr des elektrischen Schlags. Rückwand nicht entfernen.
小心
有触电的危险。请勿打开。
警告：高压注意
サービスマン以外の方は裏ぶたをあげないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

The equipment must be connected to a grounded main outlet.
Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.
Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.
这设备必须连接至接地主插座。
電源コードのアースは必ず接地してください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

Copyright © 2011 株式会社ナナオ All rights reserved.

- 1.本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視するグラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げた状態で使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなどきには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」(P.4) 参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先の尖った物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- ・ 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

● パネル面

- ・ 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- ・ 落ちにくい汚れは、付属の「ScreenCleaner」をご利用いただくか、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

● キャビネット

- ・ 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・ 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・ 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

目次

表紙	1	2-4. 信号の出力レンジを拡張する「レンジ拡張」.....	21
モニターについて	3	2-5. 表示サイズを切り替える.....	22
目次	5	● 表示サイズを切り替える「画面サイズ」.....	22
第1章 はじめに	7	2-6. 動画性能を設定する「オーバードライブ」.....	22
1-1. 特長.....	7	第3章 モニターの設定をする	23
1-2. 各部の名称と機能.....	9	3-1. モード選択の有効/無効を設定する「モード設定」.....	23
1-3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて .10		3-2. 表示言語を設定する「言語選択」.....	23
● ディスクの内容と概要	10	3-3. 設置方向を設定する「設置方向」.....	24
● ColorNavigator を使用するときには	10	3-4. 調整メニューの位置を変更する「メニューポジション」.....	24
1-4. 基本操作と機能一覧.....	10	3-5. EIZO ロゴ表示を設定する「起動ロゴ」.....	24
● 調整メニューの基本操作方法	10	3-6. 操作ボタンをロックする「操作ロック」.....	25
● ボタンガイドを表示する	11	3-7. ランプの明るさを設定する「ランプ輝度」.....	25
● 機能一覧.....	12	3-8. 入力信号の設定をする「信号選択」.....	26
第2章 画面を調整する	14	● DVI 接続する (Single Link)	26
2-1. 対応解像度.....	14	● DVI 接続する (Dual Link)	26
● デジタル信号 (DVI-D : Single Link) 入力時 14		● DVI 接続する (デジタルカメラからの HDMI 信号の簡易表示)	27
● デジタル信号 (DVI-D : Dual Link、DisplayPort / Mini DisplayPort) 入力時.....	14	● DisplayPort / Mini DisplayPort 接続する.....	27
2-2. 解像度を設定する.....	15	3-9. 入力信号を無効にする「入力スキップ」.....	28
● Windows 7 の場合.....	15	3-10. 初期設定に戻す	28
● Windows Vista の場合.....	15	● カラー調整値をリセットする「カラーリセット」.....	28
● Windows XP の場合.....	15	● すべての設定内容をリセットする「オールリセット」.....	28
● Mac OS X の場合.....	15	第4章 SelfCalibration について	29
2-3. カラー調整をする.....	16	4-1. 調整内容を設定する「設定」.....	29
● 表示モード (カラーモード) を選択する.....	16	● モニターの日時を設定する「時計合わせ」.....	29
● 詳細な調整をする.....	17	● 調整スケジュールを設定する「スケジュール」.....	30
● 各モードの調整項目.....	17	● SelfCalibration を実行するモードを設定する「モード選択」.....	31
● ブライツネス (明るさ) を調整する「ブライツネス」.....	17	● 調整目標を設定する「目標」.....	32
● コントラストを調整する「コントラスト」.....	18	4-2. SelfCalibration を実行する「実行」.....	32
● 色温度を調整する「色温度」.....	18		
● ガンマを調整する「ガンマ」.....	19		
● 色合いを調整する「色合い」.....	19		
● 色の濃さを調整する「色の濃さ」.....	20		
● 輪郭補正をする「輪郭補正」.....	20		
● ゲインを調整する「ゲイン」.....	20		
● 黒レベルを調整する「黒レベル」.....	21		
● 6色調整をする「6色調整」.....	21		

4-3. 調整結果を確認する「結果閲覧」.....	33
第5章 省電力機能について.....	34
5-1. パワーセーブの設定をする「パワーセーブ」.	34
5-2. 離席時に省電力モードの設定をする 「EcoView Sense」	35
第6章 こんなときは.....	36
6-1. 画面が表示されない場合.....	36
6-2. 画面に関する症状.....	38
6-3. その他の症状.....	39
6-4. キャリブレーションセンサーおよび SelfCalibration に関する症状.....	40
エラーコード表.....	40
第7章 ご参考に.....	41
7-1. オプションアーム取付方法.....	41
7-2. 複数のコンピュータを接続する	42
● 入力信号を切り替える	43
● 入力信号の切替方法を設定する「入力切替」.	43
7-3. USB (Universal Serial Bus) の活用について	44
● 必要なシステム環境.....	44
● 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)	44
7-4. モニター情報を表示する.....	45
● 信号情報を表示する「入力信号情報」.....	45
● モニター情報を表示する「モニター情報」.....	45
7-5. 仕様.....	46
7-6. 用語集.....	49
付録.....	51
商標	51
ライセンス	51
VCCI.....	52
その他規格	52
TCO.....	53
中国 RoHS	54
アフターサービス.....	55

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 27.0 型ワイド画面
- Adobe RGB カバー率 97%
- 解像度 2560 × 1440 対応
- IPS パネルによる上下左右 89° の広視野角を実現
- フレーム同期モード対応周波数：23.75 ～ 30.5Hz、47.5 ～ 61Hz
- DisplayPort / Mini DisplayPort 対応（8bit または 10bit に対応）
- 3 系統信号入力搭載（DVI-D × 1、DisplayPort × 1、Mini DisplayPort × 1）
- カラーモード機能を搭載
 - Adobe RGB や放送規格「EBU/REC709/SMPTE-C」、デジタルシネマ規格「DCI」で定められた色域、ガンマを再現可能
 - 「表示モード（カラーモード）を選択する」(P.16) 参照
- モニター 1 台ごとの工場出荷時の階調特性とユニフォミティ特性をデータ化した、調整データシート付属
- 縦表示対応（時計回りに 90° 回転）
- 遮光フード標準添付
- フロントボタン下の機能表示部が光り、暗い場所での操作性が向上
 - 「3-7. ランプの明るさを設定する「ランプ輝度」」(P.25) 参照
- キャリブレーションセンサーを内蔵し、SelfCalibration（セルフキャリブレーション）によるモニター単独でのキャリブレーションに対応
 - 「第4章 SelfCalibration について」(P.29) 参照
- モニター特性の測定と調整、カラープロファイルの作成が可能なキャリブレーションソフトウェア「ColorNavigator」を添付
 - 「1-3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて」(P.10) 参照
- 色覚シミュレーションソフトウェア「UniColor Pro」対応
当社の Web サイト（<http://www.eizo.co.jp>）からダウンロードできます。
- 省電力機能
消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
 - 主電源オフ時消費電力 0W
主電源スイッチを装備。
モニターを使用しない時は、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。
 - EcoView Sense 機能
モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、自動的に省電力モードに移行して画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。
 - 「5-2. 離席時に省電力モードの設定をする「EcoView Sense」」(P.35) 参照
- 著作権保護技術 HDCP 対応（DisplayPort / Mini DisplayPort のみ）

注意

遮光フードを使用する際は次の点に注意してください。



モニターを移動するときは、フードを外す

移動中にフードが外れて落下し、けがや破損の原因となります。



フードの上に物を置かない

フードの落下やモニターの転倒により、けがや破損の原因となります。

キャリブレーションセンサーを使用する際は次の点に注意してください。



キャリブレーションセンサーに触れない

キャリブレーションセンサーの測定精度の低下、けがや破損の原因となります。

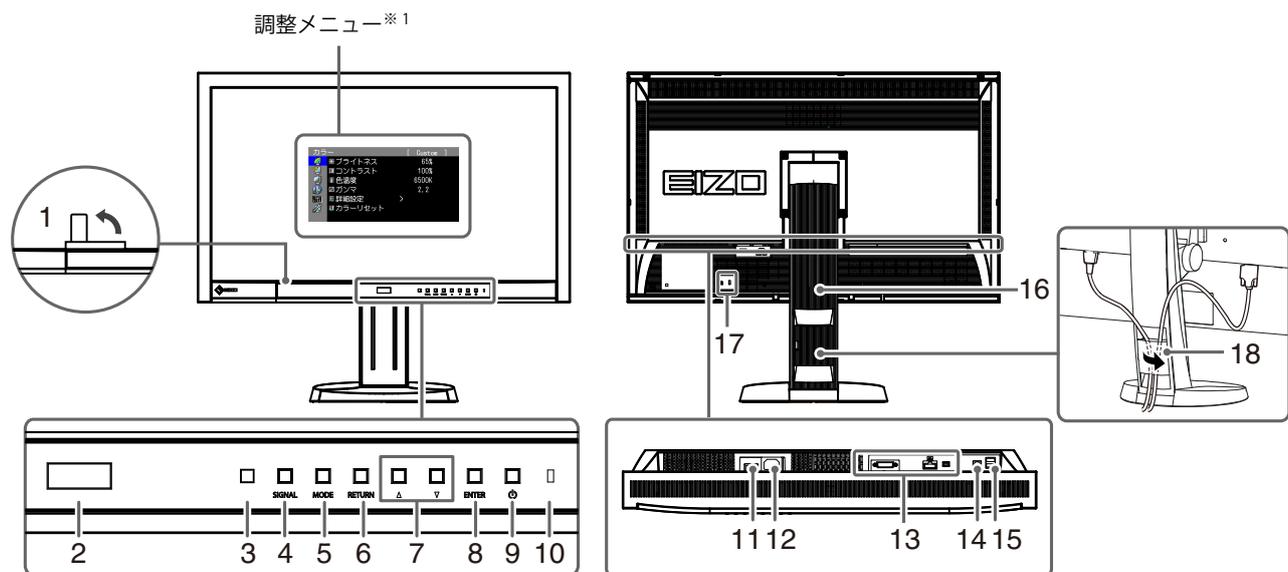
注意点

- ・ キャリブレーションセンサーの測定精度に影響がでる場合がありますので、温度 30℃ 以下および湿度 70% 以下の環境での保管、使用をお勧めします。また、直射日光下での保管、使用を避けてください。
-

参考

- ・ この製品はモニターの縦表示に対応しています。縦表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます（「3-3. 設置方向を設定する「設置方向」」(P.24) 参照）。
 - ・ モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社の Web サイトもあわせて参照してください (<http://www.eizo.co.jp>)。
-

1-2. 各部の名称と機能



1. キャリブレーションセンサー	モニター単独でキャリブレーションをおこなうセンサーです。SelfCalibration(セルフキャリブレーション)機能 (P.29)
2. EcoView Sense センサー	モニター正面の人の動きを検知します。EcoView Sense (エコビューセンス)機能 (P.35)
3. 環境光センサー	環境光を測定するセンサーです (P.33)。
4. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます (P.43)。
5. MODE ボタン	カラーモードを切り替えます (P.16)。
6. RETURN ボタン	調整 / 設定をキャンセルしたり、調整メニューを終了します。
7. ▲▼ ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。 明るさ (ブライトネス) メニューを表示します (P.17)。
8. ENTER ボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します (P.10)。
9. 電源ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
10. 電源ランプ	<p>モニターの動作状態を表します。</p> <p>青： 画面表示</p> <p>青点滅 (すばやく 2 回)： 次の場合に再キャリブレーション実行の必要性を通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ColorNavigator でタイマーを設定した場合 (CAL モード) SelfCalibration のスケジュールを設定した場合 <p>橙： 省電力モード</p> <p>消灯： 主電源 / 電源オフ</p>
11. 主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。
12. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
13. 信号入力コネクタ	左：DVI-D コネクタ / 中：DisplayPort コネクタ / 右：Mini DisplayPort コネクタ
14. USB ポート (UP)	USB 接続が必要なソフトウェア、USB ハブ機能を使用する場合に USB ケーブルを接続します (P.44)。
15. USB ポート (DOWN)	USB に対応している周辺機器と接続できます。
16. スタンド※2	高さや角度が調整できます。
17. 盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
18. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※1 使用方法は、「1-4. 基本操作と機能一覧」(P.10)を参照してください。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム (またはオプションスタンド) に取り付けることが可能になります (「7-1. オプションアーム取付方法」(P.41)参照)。

1-3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txt または「お読みください」ファイル		○	○
ColorNavigator	モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル (for Windows)、Apple ColorSync プロファイル (for Macintosh) の作成がおこなえるソフトウェアです。 (USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。)	○	○
画面調整ユーティリティ*	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に使用するパターン表示ソフトウェアです。	○	-
画面調整パターン集*	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。画面調整ユーティリティが、ご使用のコンピュータに対応していない場合、このパターン集を使って調整することができます。	○	-
モニターの取扱説明書 (PDF ファイル)		○	○

* この製品はアナログ信号入力に対応していないため使用しません。

● ColorNavigator を使用するときは

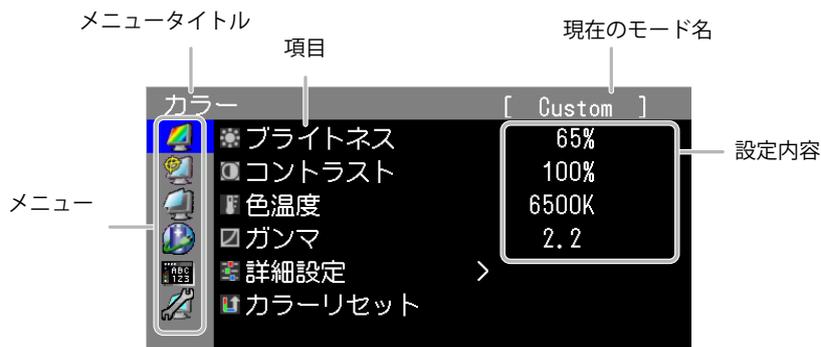
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、「7-3. USB (Universal Serial Bus) の活用について」(P.44)を参照してください。

1-4. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

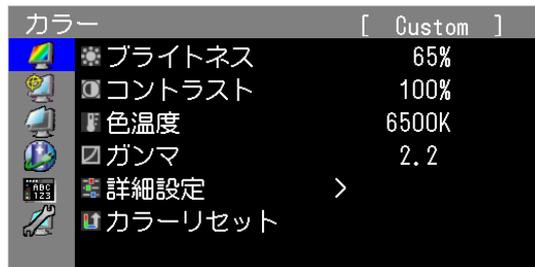
1. 調整メニューの表示

1. ENTER を押し、調整メニューを表示します。

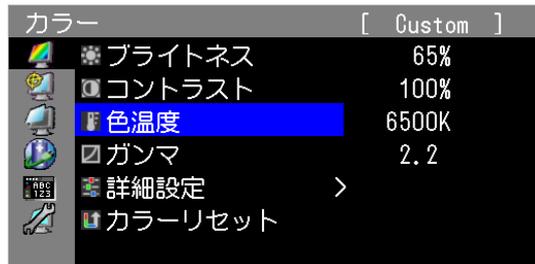


2. 調整 / 設定

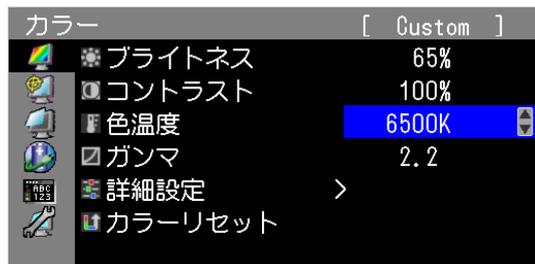
1. ▲▼で、調整 / 設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。



2. ▲▼で、調整 / 設定したい項目を選択し、ENTER を押します。



3. ▲▼で、調整 / 設定し、ENTER を押して確定します。

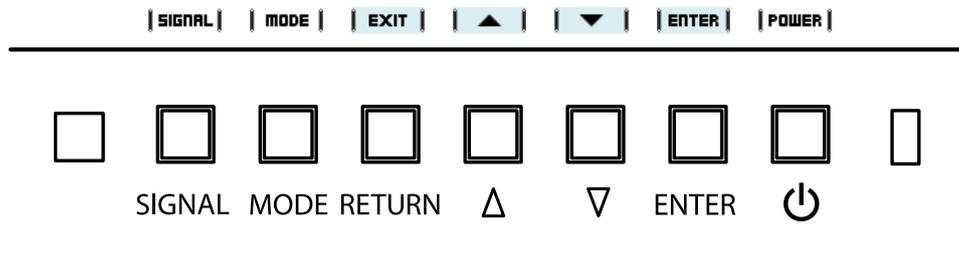


3. 終了

1. RETURN を数回押すと、メニューを終了します。

● ボタンガイドを表示する

フロントボタン（ ボタンを除く）を押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。（縦置きにしている場合には、ボタンの横に表示されます。）



参考

- 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。
- CAL モードでは ▲▼ ボタンの上にボタンガイドが表示されますが、輝度の調整はできません。

● 機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	参照先
カラー 	 ブライツネス	「2-3. カラー調整をする」(P.16)
	 コントラスト	
	 色温度	
	 ガンマ	
	 詳細設定	
	 色合い  色の濃さ  輪郭補正  ゲイン  黒レベル  6色調整	
	 カラーリセット	「3-10. 初期設定に戻す」(P.28)
SelfCalibration 	 実行	「4-2. SelfCalibrationを実行する「実行」」(P.32)
	 結果閲覧	「4-3. 調整結果を確認する「結果閲覧」」(P.33)
	 調整結果  環境光	
	 設定	「4-1. 調整内容を設定する「設定」」(P.29)
	 モード選択  目標	
	 スケジュール  時計合わせ	
スクリーン 	 画面サイズ	「2-5. 表示サイズを切り替える」(P.22)
	 オーバードライブ	「2-6. 動画性能を設定する「オーバードライブ」」(P.22)
	 レンジ拡張	「2-4. 信号の出力レンジを拡張する「レンジ拡張」」(P.21)
Power Manager 	 パワーセーブ	「5-1. パワーセーブの設定をする「パワーセーブ」」(P.34)
	 EcoView Sense	「5-2. 離席時に省電力モードの設定をする「EcoView Sense」」(P.35)
	 ランプ輝度	「3-7. ランプの明るさを設定する「ランプ輝度」」(P.25)
メニュー設定 	 言語選択	「3-2. 表示言語を設定する「言語選択」」(P.23)
	 設置方向	「3-3. 設置方向を設定する「設置方向」」(P.24)
	 メニューポジション	「3-4. 調整メニューの位置を変更する「メニューポジション」」(P.24)

ツール 	 入力切替	「入力信号の切替方法を設定する「入力切替」」(P.43)
	 入力スキップ	「3-9. 入力信号を無効にする「入力スキップ」」(P.28)
	 モード設定	「3-1. モード選択の有効 / 無効を設定する「モード設定」」(P.23)
	 入力信号情報	「7-4. モニター情報を表示する」(P.45)
	 モニター情報	
	 オールリセット	「3-10. 初期設定に戻す」(P.28)

* 「カラー」で調整 / 設定できる機能はモードにより異なります（「2-3. カラー調整をする」(P.16) 参照）。

第2章 画面を調整する

2-1. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● デジタル信号（DVI-D：Single Link）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA	60 Hz	162 MHz (Max.)
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	60 Hz	
1024 × 768	VESA	60 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024	VESA	60 Hz	
1600 × 1200	VESA	60 Hz	
1920 × 1080 ^{※1}	1080p@50	50 Hz	
1920 × 1080	CEA-861	60 Hz	
1920 × 1200	VESA CVT RB	60 Hz	
2560 × 1440 ^{※2}	Single Link 10bit	30 Hz	

● デジタル信号（DVI-D：Dual Link、DisplayPort / Mini DisplayPort）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA	60 Hz	242 MHz (Max.)
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	60 Hz	
1024 × 768	VESA	60 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024	VESA	60 Hz	
1600 × 1200	VESA	60 Hz	
1920 × 1080 ^{※1}	1080p@50	50 Hz	
1920 × 1080	CEA-861	60 Hz	
1920 × 1200	VESA CVT	60 Hz	
2560 × 1440 ^{※3}	Dual Link	60 Hz	

VESA 規格および CEA-861 に準拠したグラフィックスボードが必要です。

※1 一部の AV 機器用途

※2 ご使用のグラフィックスボードにより対応は異なります。

※3 推奨解像度です。

[「3-8. 入力信号の設定をする「信号選択」\(P.26\) 参照](#)

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 7 の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
3. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
4. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

● Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

● Mac OS X の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-3. カラー調整をする

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの使用に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

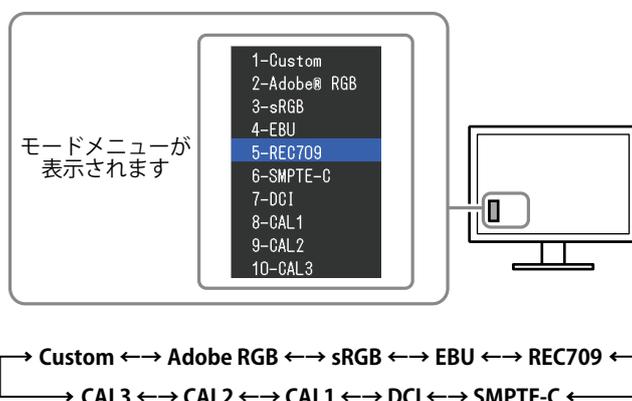
モード	目的
1-Custom	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
2-Adobe RGB	Adobe RGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
3-sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
4-EBU	EBU（欧州放送連合）規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
5-REC709	ITU-R の REC709 規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
6-SMPTE-C	SMPTE-C 規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
7-DCI	DCI 規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
8-CAL1 9-CAL2 10-CAL3	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。

注意点

- ColorNavigator をご使用の際はモニターの操作をおこなわないようにしてください。

参考

- CAL モードではキャリブレーションソフトウェア「ColorNavigator」および SelfCalibration で調整をおこなうことができます（「第4章 SelfCalibration について」(P.29) 参照）。
- 使用できる CAL モードは入力信号ごとに異なります（「SelfCalibration を実行するモードを設定する「モード選択」」(P.31) 参照）。



設定方法

- MODE を押します。
モードメニューが画面左下に表示されます。
- MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
モードメニュー表示中は、▲または▼を押してモードを切り替えることもできます。

参考

- 調整メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3-1. モード選択の有効/無効を設定する「モード設定」」(P.23) を参照してください。

● 詳細な調整をする

調整メニューの「カラー」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意

- ・ 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- ・ モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・ 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。(調整 / 設定できない機能は選択できません。)
各モードの調整 / 設定内容はすべての入力信号に対して適用されます。

○：調整可 —：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード							
		1-Custom	2-Adobe RGB	3-sRGB	4-EBU	5-REC709	6-SMPTE-C	7-DCI	8-CAL1 9-CAL2 10-CAL3
	ブライトネス	○	○	○	○	○	○	○	—
	コントラスト	○	—	—	—	—	—	—	—
	色温度	○	○	○	○	○	○	○	—
	ガンマ	○	○	○	○	○	○	○	—
	色合い	○	—	—	—	—	—	—	—
	色の濃さ	○	—	—	—	—	—	—	—
	輪郭補正	○	○	○	○	○	○	○	—
	ゲイン	○	—	—	—	—	—	—	—
	黒レベル	○	○	○	○	○	○	○	—
	6色調整	○	—	—	—	—	—	—	—
	カラーリセット	○	○	○	○	○	○	○	—

● ブライトネス（明るさ）を調整する「ブライトネス」

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. ▲または▼を押します。
 ブライトネスメニューが表示されます。
2. ▲または▼で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ・ ブライトネスが 0% でも画面が明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
- ・ 調整メニューの「カラー」－「ブライトネス」で調整することもできます。

● コントラストを調整する「コントラスト」

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「コントラスト」を選択し、ENTER を押します。
「コントラスト」が表示されます。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 100% ですべての色階調を表示します。
 - 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
 - コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
- ブライトネスが 0% でも画面が明るいと感じたとき。(コントラストを 100% 以下に設定します。)
-

● 色温度を調整する「色温度」

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、4000K～10000K（100K 単位）、Standard

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する「ゲイン」」(P.20) 参照）。
 - 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100%）になります。
 - ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
 - Adobe RGB/sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードの初期設定は「Standard」で、各規格に準拠した色温度になります。
-

● ガンマを調整する「ガンマ」

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.6 ~ 2.7

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Adobe RGB/sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードの初期設定は「Standard」で、各規格に準拠したガンマになります。
-

● 色合いを調整する「色合い」

色合いを調整します。

設定範囲

-100 ~ 100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「色合い」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

● 色の濃さを調整する「色の濃さ」

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100 ~ 100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「色の濃さ」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
-

● 輪郭補正をする「輪郭補正」

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感、素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「輪郭補正」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で、表示状態を -3 ~ 3 (ソフト~シャープ) の範囲から好みに応じて選択します。
5. 調整が完了したらENTERを押します。

● ゲインを調整する「ゲイン」

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0 ~ 100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「ゲイン」を選択し、ENTERを押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTERを押します。
5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- この設定は「色温度」の設定をすると無効になります。
 - 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

● 黒レベルを調整する「黒レベル」

赤、緑、青のそれぞれの黒レベルを調整することにより、黒の明るさ、色度を調整します。背景が黒の画像を表示して調整してください。

調整範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「黒レベル」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で調整します。
6. 調整が完了したら ENTER を押します。

参考

- 黒レベル値が0の場合、さらに黒を暗くするためにはブライトネスの値を下げてください。
 - コントラストの値を下げて黒レベルの明るさは変わりません。
-

● 6色調整をする「6色調整」

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blue の色合いおよび色の濃さを個別に調整します。

調整範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「6色調整」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Magenta」、「Red」、「Yellow」、「Green」、「Cyan」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. 「色合い」または「色の濃さ」を選択し、ENTER を押します。
6. ▲または▼で設定します。
7. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-4. 信号の出力レンジを拡張する「レンジ拡張」

表示階調の範囲が 64/1023～1019/1023 の入力信号を 0/1023～1023/1023 に拡張します。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「レンジ拡張」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- CAL モードを表示中は設定できません。
-

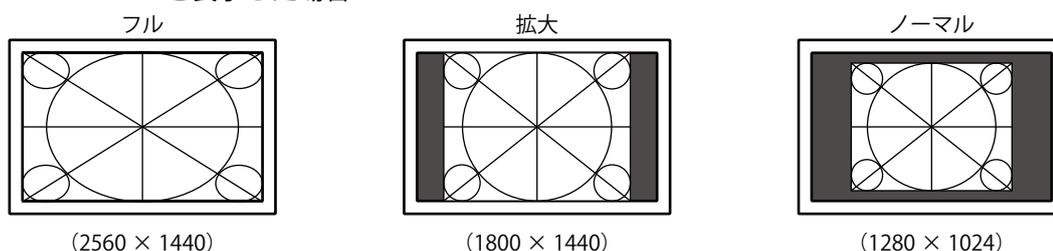
2-5. 表示サイズを切り替える

● 表示サイズを切り替える「画面サイズ」

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「スクリーン」の「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280 × 1024 を表示した場合



設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTERを押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- ・「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

2-6. 動画性能を設定する「オーバードライブ」

「オーバードライブ」の設定をすると、動きの速い画像を表示すると見えることがある残像を抑えることができます。初期設定は「オン」になっていますが、「オン」にすることでノイズや残像がかえって目立つ場合があります。そのような場合、「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてください。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTERを押します。
2. 「スクリーン」で「オーバードライブ」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

第3章 モニターの設定をする

3-1. モード選択の有効 / 無効を設定する「モード設定」

モードを選択するときに、設定したモードだけを選択することができます。

表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モード設定」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定を変更するモードを選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- ・すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「オン」に設定してください。

3-2. 表示言語を設定する「言語選択」

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語（簡体）
/ 中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3 - 3. 設置方向を設定する「設置方向」

モニターを縦表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「設置方向」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「横置き」または「縦置き」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。
5. 「縦置き」を選択した場合は、モニター画面を時計回りに 90° 回転します。

注意点

- ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。
- モニターの画面を回転する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて、上向き（チルト）にしてから回転してください。

参考

- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社の Web サイトもあわせて参照してください (<http://www.eizo.co.jp>)。

3 - 4. 調整メニューの位置を変更する「メニューポジション」

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で位置を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3 - 5. EIZO ロゴ表示を設定する「起動ロゴ」

EIZO ロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

設定方法

1. 電源ボタンを押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら電源ボタンを 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「起動ロゴ」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-6. 操作ボタンをロックする「操作ロック」

調整 / 設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. **⏻** を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら **⏻** を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「操作ロック」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲ または ▼ で「オフ」 / 「メニュー」 / 「オール」のいずれかを選択し、ENTER を押します。

設定項目	ロックできるボタン
オフ (初期設定)	なし (すべてのボタンが有効)
メニュー	ENTER ボタン
オール	⏻ ボタンを除くすべてのボタン

5. ▲ または ▼ で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-7. ランプの明るさを設定する「ランプ輝度」

画面表示時の電源ランプ(青)および操作ボタン下の機能表示部の輝度を設定することができます。(初期設定では、電源ランプおよび操作ボタン下の機能表示部は電源を入れたときに点灯し、4 に設定されています。)

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「ランプ輝度」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲ または ▼ でランプの明るさを「オフ」または 1～7 の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-8. 入力信号の設定をする「信号選択」

ご使用の環境に応じた信号を選択することができます。

注意点

- 表示する場合には、対応のグラフィックスボードが必要です。
- グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

● DVI 接続する (Single Link)

設定方法

1. **⏻** を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら **⏻** を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「信号選択」を選択し、ENTER を押します。
4. **▲** または **▼** で「DVI」を選択し、ENTER を押します。
5. **▲** または **▼** で「信号フォーマット」を選択し、ENTER を押します。
6. **▲** または **▼** で「Single Link」を選択し、ENTER を押します。
7. RETURN を 2 回押します。
8. **▲** または **▼** で「完了」を選択します。
9. ENTER を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

● DVI 接続する (Dual Link)

設定方法

1. **⏻** を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら **⏻** を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「信号選択」を選択し、ENTER を押します。
4. **▲** または **▼** で「DVI」を選択し、ENTER を押します。
5. **▲** または **▼** で「信号フォーマット」を選択し、ENTER を押します。
6. **▲** または **▼** で「Dual Link」を選択し、ENTER を押します。
7. **▲** または **▼** で「入力信号帯域」を選択し、ENTER を押します。

グラフィックスボードの種類に応じた周波数の信号帯域の設定を、**▲** または **▼** で選択または確認します。

設定	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)
Normal	26 ~ 89	59 ~ 61
Wide	26 ~ 89	23.75 ~ 63

8. ENTER を押します。
9. RETURN を 2 回押します。
10. **▲** または **▼** で「完了」を選択します。
11. ENTER を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

● DVI 接続する（デジタルカメラからの HDMI 信号の簡易表示）

この製品とデジタルカメラを DVI-HDMI 変換ケーブルで接続することにより、デジタルカメラからの HDMI 信号を簡易表示できます。

注意点

- PC 信号を表示する場合は、「Single Link」または「Dual Link」に設定してください。

設定方法

1. **⏻**を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら **⏻**を 2 秒以上押しモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「信号選択」を選択し、ENTER を押します。
4. **▲**または**▼**で「DVI」を選択し、ENTER を押します。
5. **▲**または**▼**で「信号フォーマット」を選択し、ENTER を押します。
6. **▲**または**▼**で「HD Video」を選択し、ENTER を押します。
7. RETURN を 2 回押します。
8. **▲**または**▼**で「完了」を選択します。
9. ENTER を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

● DisplayPort / Mini DisplayPort 接続する

設定方法

1. **⏻**を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら **⏻**を 2 秒以上押しモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「信号選択」を選択し、ENTER を押します。
4. **▲**または**▼**で「DisplayPort」を選択し、ENTER を押します。
5. **▲**または**▼**で「入力信号帯域」を選択し、ENTER を押します。
グラフィックスボードの種類に応じた周波数の信号帯域の設定を、**▲**または**▼**で選択または確認します。

設定	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)
Normal	26 ~ 89	59 ~ 61
Wide	26 ~ 89	23.75 ~ 63

6. ENTER を押します。
7. RETURN を 2 回押します。
8. **▲**または**▼**で「完了」を選択します。
9. ENTER を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-9. 入力信号を無効にする「入カスキップ」

入力信号を切り替えるときに、設定した入力信号をスキップすることができます。

表示させる入力信号が限定されている場合や、入力信号をむやみに変更したくない場合は、使用しない信号を「入カスキップ」で「オン」にしてご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入カスキップ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定する入力信号を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- すべての入力信号を無効にすることはできません。1つ以上の入力信号を「オフ」にしてください。
- 設定した内容は、次回入力信号を切り替えた際に適用されます。

3-10. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「[主な初期設定値](#)」(P.47) を参照してください。

● カラー調整値をリセットする「カラーリセット」

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする「オールリセット」

すべての設定内容を初期設定に戻します（「SelfCalibration」メニューの「時計合わせ」および「オプション設定」メニューは除く）。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「オールリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

「SelfCalibration」メニューの「時計合わせ」および「オプション設定」メニューを除くすべての設定内容が初期設定になります。

第4章 SelfCalibration について

この製品は、キャリブレーションセンサーを内蔵しています。ColorNavigator を使って、事前に SelfCalibration の調整目標やスケジュールを設定することで、キャリブレーションセンサーが自動的に働き、定期的にキャリブレーションを実行することができます。ColorNavigator を使用する場合は、モニターの設定は必要ありません。

ColorNavigator が使用できない環境の場合には、モニター単体で SelfCalibration をおこなうことができます(「4-1. 調整内容を設定する「設定」」(P.29)～「4-3. 調整結果を確認する「結果閲覧」」(P.33)参照)。

参考

- キャリブレーションセンサーの測定結果をご使用の測定器の測定結果に合わせる場合は、ColorNavigator に付属の Correlation Utility をご使用ください。詳細は、CD-ROM 内の ColorNavigator の取扱説明書を参照してください。
- SelfCalibration はコンピュータの信号が入力されていない状態でもおこなうことができます。

4-1. 調整内容を設定する「設定」

● モニターの日時を設定する「時計合わせ」

モニターの日時を設定します。

参考

- ColorNavigator を起動すると、日時が自動的に設定されます。詳細は、CD-ROM 内の ColorNavigator の取扱説明書を参照してください。

設定方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、ENTER を押します。
2. 「SelfCalibration」で「設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「設定」で「時計合わせ」を選択し、ENTER を押します。
時計合わせメニューが表示されます。
4. ▲または▼で日付を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で時刻を選択し、ENTER を押します。

注意点

- 長時間主電源を切ったままにしておくと、時計の再設定が必要になる場合があります。

● 調整スケジュールを設定する「スケジュール」

SelfCalibration の調整スケジュールを設定します。

注意点

- SelfCalibration を動作させるためには時計合わせが必要です。

設定方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、ENTER を押します。
2. 「SelfCalibration」で「設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「設定」で「スケジュール」を選択し、ENTER を押します。
スケジュール設定メニューが表示されます。
4. ▲または▼で設定を変更する項目を選択し、ENTER を押します。

設定項目			設定内容
開始タイミング	オフ	SelfCalibration を実行しません。	SelfCalibration を実行するタイミングを設定します。
	パワーセーブ	スケジュールで設定した期間が経過後、最初にパワーセーブに移行するとき、または最初に電源が切れるときに実行します。	
	即時	スケジュールで設定した期間が経過後、即時に実行します。	
設定方法※	タイプ 1	数ヶ月に 1 回	SelfCalibration を実行する頻度に応じて設定します。
	タイプ 2	数週間に 1 回	
	タイプ 3	数時間（モニターの使用時間）に 1 回	
間隔	タイプ 1	1 ～ 12 ヶ月	SelfCalibration が完了してから次の実行までの間隔を設定します。「設定方法」で指定したタイプによって設定内容は異なります。
	タイプ 2	1 ～ 5 週間	
	タイプ 3	50 ～ 500 時間	
週	第 1 週目～第 5 週目		調整が実行される月の何週目に SelfCalibration を実行するかを設定します。
曜日	SUN/MON/TUE/WED/THU/FRI/SAT		調整が実行される週の何曜日に SelfCalibration を実行するかを設定します。
時間	00:00 ～ 23:30		SelfCalibration を実行する時刻を設定します。

※ よく使う設定をプリセットしておくことができます。

5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。
調整スケジュールが設定されます。

参考

- 開始タイミングが「即時」で、設定方法が「タイプ 1」あるいは「タイプ 2」の場合、⏻で電源を切った状態でもスケジュールどおり SelfCalibration が実行されます。
- 開始タイミングで「オフ」を選択した場合、SelfCalibration メニューに「設定が完了していません」と表示されますが、手動での SelfCalibration は実行可能です。

● SelfCalibration を実行するモードを設定する「モード選択」

SelfCalibration を実行するモード (CAL1/CAL2/CAL3) を設定します。
設定するモードごとに信号入力が割り当てられています。

モード	信号入力
CAL1	DVI
CAL2	DisplayPort-1
CAL3	DisplayPort-2 (Mini DisplayPort)

設定方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、ENTER を押します。
2. 「SelfCalibration」で「設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「設定」で「モード選択」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定を変更するモードを選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- MODE で、現在設定できるモード (CAL1/CAL2/CAL3) を確認できます。
 - 「その他のモード」を「オン」にした場合、モニターの色再現域が更新され、各カラーモードの表示を次のように調整します。
 - CAL モード以外の色温度を規格値に近くなるように補正します。
 - Adobe RGB/sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードでは色域をそれぞれの規格値に近くなるように補正します。
-

● 調整目標を設定する「目標」

SelfCalibrationの調整目標を設定します。

設定方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、ENTERを押します。
2. 「SelfCalibration」で「設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「設定」で「目標」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で設定を変更するモードを選択し、ENTERを押します。
目標設定メニューが表示されます。
5. ▲または▼で設定を変更する項目を選択し、ENTERを押します。

設定項目		調整範囲	調整内容
輝度		30 ~ 200cd/m ²	モニターの明るさを輝度値 (cd/m ²) で設定します。
白色点	White (x) /White (y)	0.2400 ~ 0.4500 ※ ¹	モニターの白色点を色座標あるいは色温度で設定します。
	色温度	4000 ~ 10000K (100K 単位) ※ ²	
色域	色域	Native	色域調整をおこないません。
		User	色域調整をおこないます。
	赤 / 緑 / 青各色	0.0000 ~ 1.0000	モニターの色再現域を調整する場合に、赤、緑、青の色座標を設定します。
ガンマ		1.6 ~ 2.7 (0.1 単位) ※ ³	モニターのガンマ値を設定します。

※¹ 色座標を設定すると、色温度は「User」になります。

※² 色温度を設定すると、白色点の x,y 座標が自動的に設定されます。

※³ ColorNavigator で調整されている場合は「Fixed」になります。

6. ▲または▼で調整します。
7. 調整が完了したら ENTER を押します。
調整目標が設定されます。

注意点

- ・色域調整は目標の色域が明確な場合のみ設定してください。
- ・ColorNavigator でグレイバランス調整をおこなった場合は、ガンマの設定値を変更しないでください。

4 - 2. SelfCalibration を実行する「実行」

調整方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、ENTERを押します。
2. 「SelfCalibration」で「実行」を選択し、ENTERを押します。
キャリブレーションセンサーが現れ、SelfCalibration が実行されます。

注意点

- ・SelfCalibration を実行するためには調整内容の設定が必要です。詳細は「[4 - 1. 調整内容を設定する「設定」](#) (P.29) を参照してください。
- ・実行を選択後、キャリブレーションセンサーが出る前にエージングが実行される場合があります。

4 - 3. 調整結果を確認する「結果閲覧」

前回の SelfCalibration の結果を確認することができます。

確認方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、ENTER を押します。
2. 「SelfCalibration」で「結果閲覧」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で結果を確認したいモードを選択します。

結果閲覧メニューが表示されます。前回 SelfCalibration を実行した日時と、前回の調整からのモニター使用時間が表示されます。

4. ▲または▼で「調整結果」または「環境光」を選択します。
前回の調整結果が表示されます。

注意点

- 環境光センサーの測定結果は、SelfCalibration 実行時と現在の環境光の差を確認するためのものであり、SelfCalibration 結果へ反映されるものではありません。

参考

- 「環境光」を選択した場合は現在の環境光も表示されます。
 - 目標値に到達しなかった数値は黄色で表示されます。
 - 使用環境が前回と大きく異なる場合、環境光の測定結果は前回調整時と現在では大きく異なる場合があります。
-

第5章 省電力機能について

5-1. パワーセーブの設定をする「パワーセーブ」

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが省電力モードの場合、またモニターの電源ボタンで電源を切っても、USB アップストリームポートおよび USB ダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTERを押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

省電力の流れ

DVI 信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

DisplayPort / Mini DisplayPort 信号入力時

「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

5 - 2. 離席時に省電力モードの設定をする「EcoView Sense」

EcoView Sense（エコビューセンス）を「レベル-1」～「レベル-4」に設定すると、モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行し、画面を非表示にして消費電力を低減します。再度人が近づくと、省電力モードから復帰して画面を表示します。EcoView Sense のセンサーの検知レベルは、ご使用の環境にあわせて変更することができます。

参考

- ・省電力モードへの移行時には、移行をお知らせするメッセージが表示されます。

注意点

- ・調整メニューの向きを「縦置き」に設定した場合、または「パワーセーブ」を「オフ」にした場合、EcoView Sense がオフになります（[3-3. 設置方向を設定する「設置方向」](#)（P.24）参照）。
- ・カラー調整、SelfCalibration、または ColorNavigator による調整をおこなう場合は、製品内部の電気部品の動作を安定させるため、「オフ」に設定してください。（初期設定：オフ）

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「EcoView Sense」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オフ」または「レベル-1」/「レベル-2」/「レベル-3」/「レベル-4」（センサーの検知レベル）のいずれかを選択します。

検知レベル	検知範囲	詳細
レベル-1	120cm 以下	検知範囲から離れると、省電力モードに移行します。検知範囲に静止物がある場合、人がいるものと判断します。離席していないにもかかわらず省電力モードに移行することが多い場合、この設定に変更することをお勧めします。
レベル-2	90cm 以下	
レベル-3	自動設定（120cm 以下）	人の動きに合わせて検知範囲を設定します。設定された範囲から離れると、省電力モードに移行します。検知範囲に静止物がある場合でも移行します。
レベル-4	自動設定（90cm 以下）	

4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第6章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

6-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">電源コードは正しく接続されていますか。主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。主電源を入れてください。⏻を押してください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none">調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」(P.17) 参照）。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none">SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。マウス、キーボードを操作してみてください。コンピュータの電源は入っていますか。EcoView Sense を「レベル-1」～「レベル-4」に設定している場合、省電力モードに移行している可能性があります。モニターに近づいてみてください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点滅：橙色、青色	<ul style="list-style-type: none">DisplayPort / Mini DisplayPort 接続している機器に問題があります。問題を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。詳細は DisplayPort / Mini DisplayPort 接続している機器の取扱説明書を参照してください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
<ul style="list-style-type: none">信号が入力されていない場合の表示です。 例： <div data-bbox="316 1261 715 1532" data-label="Image"></div>	<ul style="list-style-type: none">コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。コンピュータの電源は入っていますか。信号ケーブルは正しく接続されていますか。SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。

症状	原因と対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。) <p>例：</p> <div data-bbox="320 338 715 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #333; color: white; text-align: center;"> <p style="color: yellow; font-weight: bold;">入力信号エラー</p>  <p>DVI デジタル</p> <p>fD: 100.0MHz fH: 100.0kHz fV: 70.0Hz</p> <p style="color: yellow; font-weight: bold;">入力信号を確認してください。</p> </div> <p>fD: ドットクロック fH: 水平走査周波数 fV: 垂直走査周波数</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度」(P.14) 参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください

6-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。(液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
2. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか(「2-1. 対応解像度」(P.14) 参照)。 調整メニューの「輪郭補正」で調整してみてください(「輪郭補正をする「輪郭補正」」(P.20) 参照)。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください(「2-6. 動画性能を設定する「オーバードライブ」」(P.22) 参照)。 HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. (DisplayPort-1/DisplayPort-2 入力時) ウィンドウの表示位置が変わる	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたときにウィンドウの位置がずれることがあります。USBケーブルをモニターとコンピュータに接続することで解消されます。 信号を切り替えたときにウィンドウの位置がずれることがあります。調整メニューの「入力スキップ」で、「DisplayPort-1」または「DisplayPort-2」を「オン」にし、使用しない信号をスキップしてください(「3-9. 入力信号を無効にする「入力スキップ」」(P.28) 参照)。

6-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする「操作ロック」」(P.25) 参照）。
2. モードメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする「操作ロック」」(P.25) 参照）。
3. (EcoView Sense 使用時) 離席しても画面が消えない / モニターに近づいても画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの設置環境を確認してください。次の環境では正しく動作しないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - センサーの正面に、光を反射するもの（鏡やガラス面など）がありませんか。 - 直射日光が当たる場所にモニターを設置していませんか。 - モニターの周辺に赤外線を出す機器がありませんか。 - センサーの前に障害物がありませんか。 センサーに汚れが付いていませんか。汚れがある場合は、柔らかい布で取り除いてください。 モニターの正面に座っていますか。センサーから垂直に出た赤外線によって人を検知します。
4. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない / モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルは正しく接続されていますか（「7-3. USB (Universal Serial Bus) の活用について」(P.44) 参照）。 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 コンピュータを再起動してみてください。 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください）。 Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

6-4. キャリブレーションセンサーおよび SelfCalibration に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 主電源を入れるとキャリブレーションセンサーが自動的に出てくる	<ul style="list-style-type: none"> キャリブレーションセンサーの動作チェックのために主電源を入れると自動的に出てきますので、故障ではありません。
2. キャリブレーションセンサーが出てこない / 出たままになる	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
3. SelfCalibration ができない	<ul style="list-style-type: none"> 日時が正しく設定されていますか。 モード設定がされていますか。 調整目標が正しく設定されていますか。
4. SelfCalibration に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> エラーコード表を参照してください。エラーコード表にないコードが表示された場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

エラーコード表

エラーコード	詳細
01**	<ul style="list-style-type: none"> CAL1 の SelfCalibration 時に発生したエラー
02**	<ul style="list-style-type: none"> CAL2 の SelfCalibration 時に発生したエラー
03**	<ul style="list-style-type: none"> CAL3 の SelfCalibration 時に発生したエラー
09**	<ul style="list-style-type: none"> その他のモードの SelfCalibration 時に発生したエラー
0*10	<ul style="list-style-type: none"> 製品の最大輝度が目標輝度よりも低くなっている可能性があります。 目標輝度を下げてください。
0*34	<ul style="list-style-type: none"> 調整中にキャリブレーションセンサーが出なかったり、測定中にセンサーに光が入った可能性があります。 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてから SelfCalibration をやり直してみてください。
0*50	<ul style="list-style-type: none"> キャリブレーションセンサーの初期化中にセンサーに光が入った可能性があります。 SelfCalibration をやり直してみてください。

第7章 ご参考に

7-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社の Web サイトを参照してください。 <http://www.eizo.co.jp>

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 取り付けには次のねじをご使用ください。
 - 本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上 45° 下 45°
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに 90° 回転してください。

取付方法

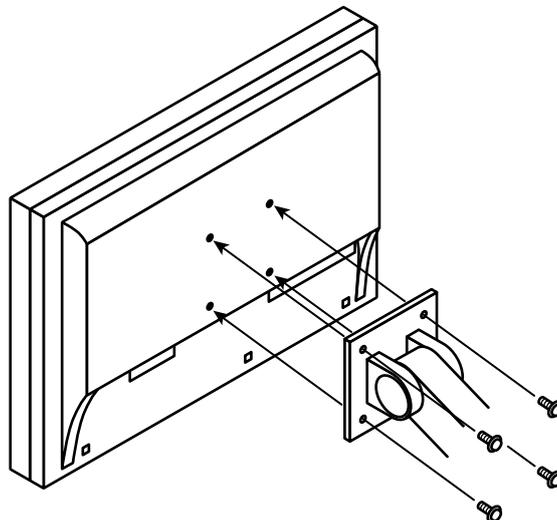
1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ 4 箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

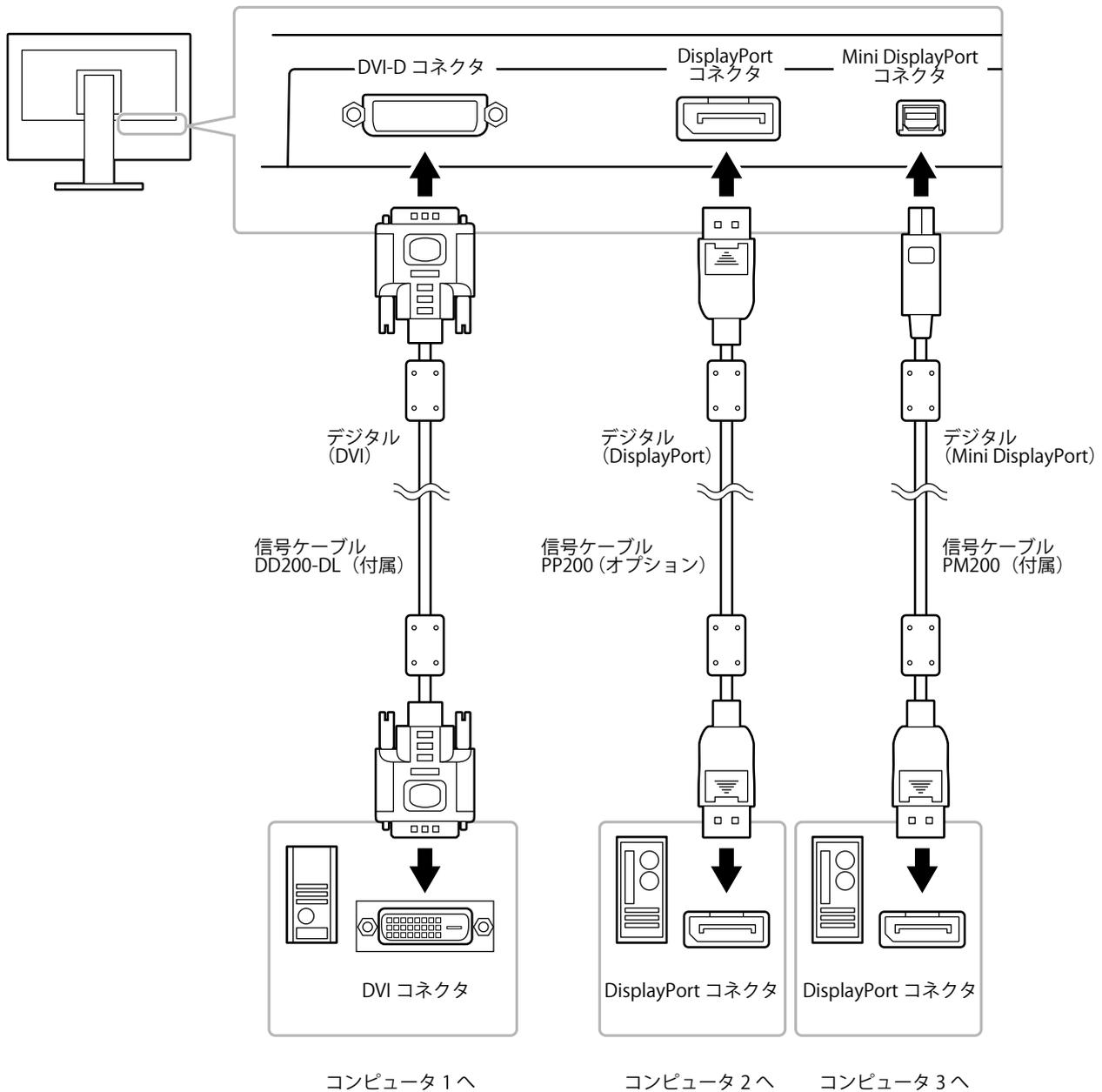
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



7-2. 複数のコンピュータを接続する

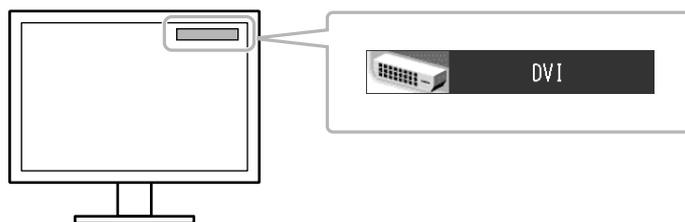
この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



参考

- 特定の入力信号をスキップすることができます。詳細は「3-9. 入力信号を無効にする「入力スキップ」」(P.28)を参照してください。

● 入力信号の切替方法を設定する「入力切替」

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

7-3. USB (Universal Serial Bus) の活用について

この製品は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、この製品が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

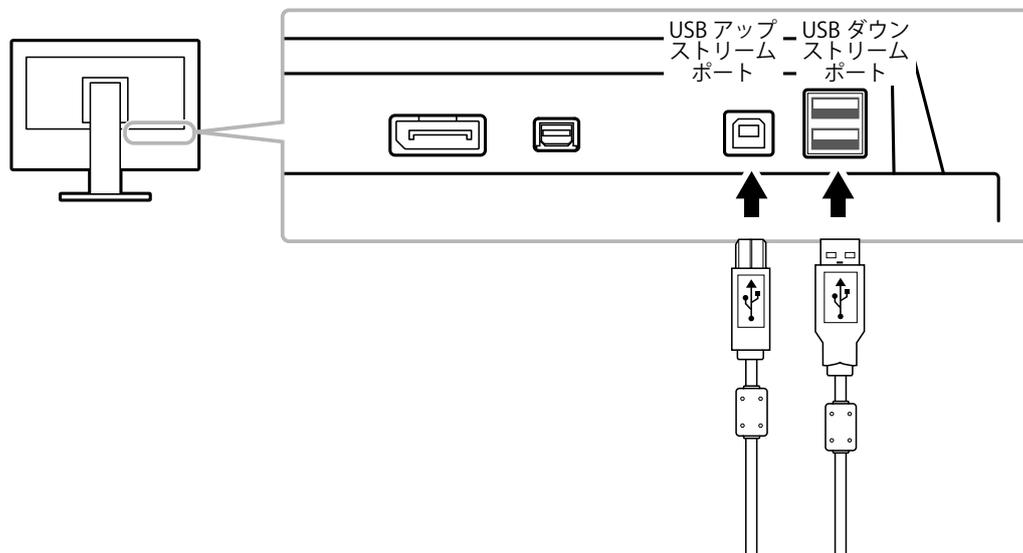
1. USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
2. Windows 2000/XP/Vista/7 または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
3. EIZO USB ケーブル (MD-C93)

注意点

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンのみで電源が切れている場合、USB アップストリームポートおよび USB ダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USB ポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ (あるいは他の USB ハブ) の USB ダウンストリームポートとモニターの USB アップストリームポートを USB ケーブルで接続します。
USB ケーブルの接続により自動的に USB のハブ機能がセットアップされます。
3. USB 対応の周辺機器をモニターの USB ダウンストリームポートに接続します。



7-4. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する「入力信号情報」

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、ENTER を押します。
「入力信号情報」が表示されます。

(例)



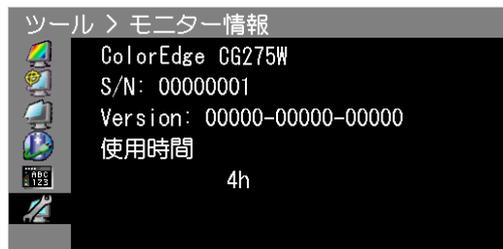
● モニター情報を表示する「モニター情報」

この製品に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、ENTER を押します。
「モニター情報」が表示されます。

製品名、製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間などを表示します。



注意点

- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

7-5. 仕様

液晶パネル	サイズ	68cm (27.0) 型 カラー TFT	
	表面処理	ハードコーティング	
	表面硬度	3H	
	視野角	左右 178°、上下 178° (CR ≥ 10)	
	ドットピッチ	0.2331mm	
	応答速度	黒→白→黒： 約 12ms 中間階調域： 約 6ms	
水平走査周波数		26 ~ 89kHz	
垂直走査周波数		23.75 ~ 63Hz (ノンインターレース) (VGA TEXT 時：69 ~ 71Hz)	
フレーム同期モード		23.75 ~ 30.5Hz、47.5 ~ 61Hz	
解像度		2560 ドット × 1440 ライン	
推奨輝度		120cd/m ² 以下 (「色温度」：「5000K」 ~ 「6500K」 設定時)	
ドットクロック (最大)		242MHz	
最大表示色		約 10 億 7374 万色 (DisplayPort / Mini DisplayPort 10bit、DVI 10bit 入力時)	
表示サイズ (水平×垂直)		596.74mm × 335.66mm	
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、1.6A	
消費電力	画面表示時	160W 以下	
	省電力モード時	1.0W 以下 (DVI 1 系統入力時、USB 機器非接続時、「入力切替」：「マニュアル」 設定時)	
	電源オフ時	0.8W 以下 (USB機器非接続時)	
	主電源オフ時	0W	
信号入力コネクタ		DVI-D コネクタ	
		DisplayPort コネクタ (Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応)	
		Mini DisplayPort コネクタ (Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応)	
デジタル信号 (DVI) 伝送方式		TMDS (Single Link/Dual Link)	
プラグ & プレイ機能		デジタル信号 (DVI-D) 入力時：VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル信号 (DisplayPort / Mini DisplayPort) 入力時： VESA DisplayPort/EDID structure 1.4	
寸法 (幅) × (高さ) × (奥行き)	本体	646mm × 425 ~ 576.5mm × 281.5mm	
	本体 (スタンドなし)	646mm × 402mm × 92mm	
	遮光フード装着時	横置き	653mm × 584mm × 379.5mm
		縦置き	410.5mm × 712 × 379.5mm
質量	本体	約 13.6kg	
	本体 (スタンドなし)	約 9.7kg	
	遮光フード装着時	約 14.7kg	
可動範囲		チルト角度：	上 25° 下 0°
		スウィーベル角度：	右 172° 左 172°
		昇降：	190mm (チルト角度 0° 時は 151.5mm)
		ローテーション：	90° (時計回り)
環境条件	温度	動作温度範囲：	0°C ~ 35°C
		輸送および保存温度範囲：	-20°C ~ 60°C
	湿度	動作湿度範囲：	20% ~ 80% R.H. (非結露状態)
		輸送および保存湿度範囲：	10% ~ 90% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲：	700hPa ~ 1060hPa
		輸送および保存気圧範囲：	200hPa ~ 1060hPa

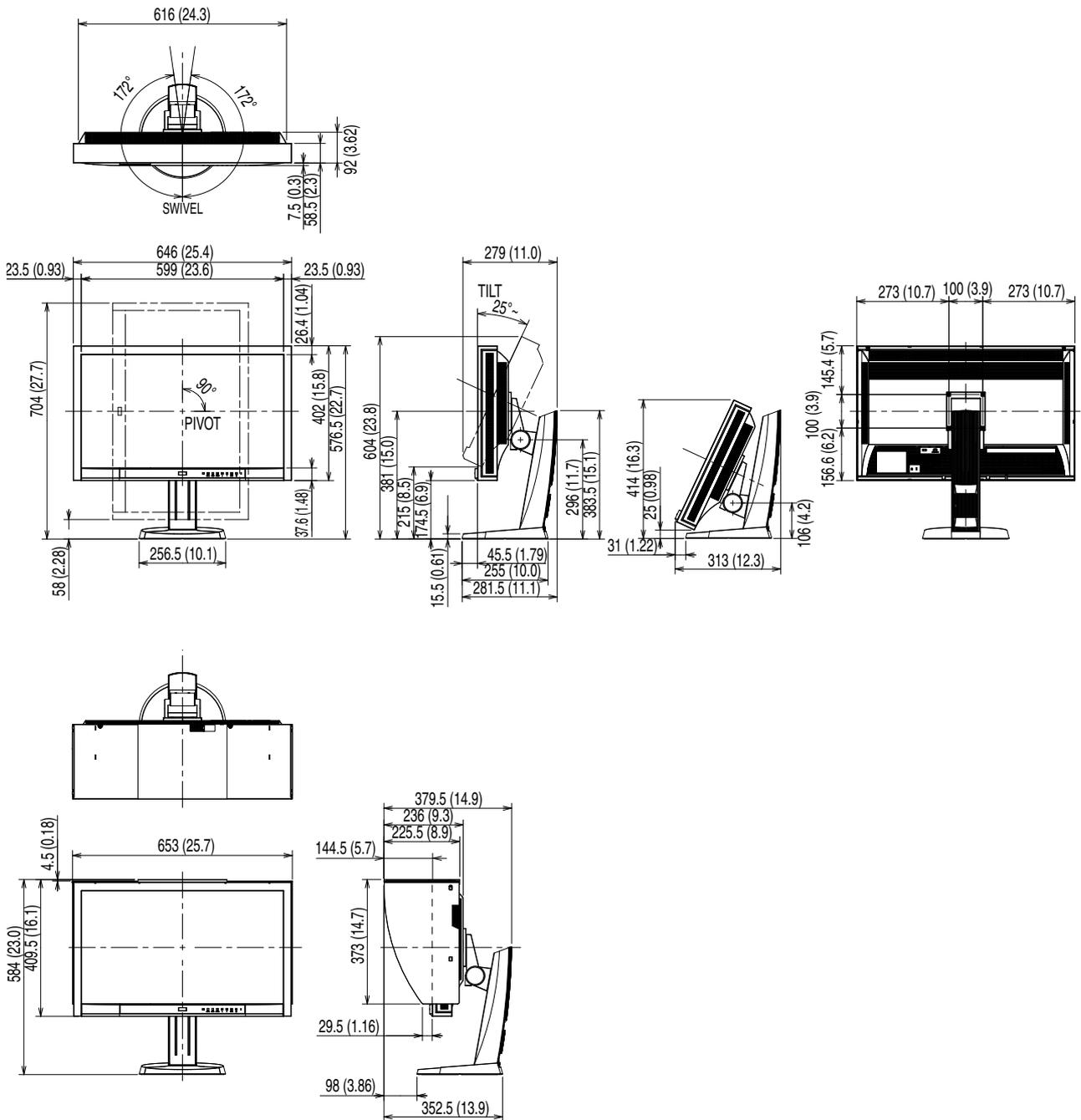
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム× 1、ダウンストリーム× 2
	通信速度	480Mbps (ハイスピード)、12Mbps (フルスピード)、 1.5Mbps (ロースピード)
	供給電源	ダウンストリーム： 最大 500mA/1 ポート

主な初期設定値

カラーモード	Custom
輪郭補正	0
画面サイズ	フル
オーバードライブ	オン
パワーセーブ	オン
EcoView Sense	オフ
言語選択	日本語
メニューポジション	中央
入力切替	マニュアル

外観寸法

単位：mm (インチ)



7 - 6. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横 2560 個、縦 1440 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、2560×1440 の解像度であれば、画像は画面全体（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

Adobe RGB

アドビシステムズ社が 1998 年に提唱した実用的な RGB 色空間の定義です。色再現域、（色域）が sRGB などに比べて広く、印刷などへの適合が高いという特長があります。

DCI（Digital Cinema Initiatives）

アメリカの映画スタジオが共同で設立した会社で、デジタルシネマに関する仕様を策定しています。

DisplayPort

VESA によって策定された、デジタルディスプレイ装置のためのデジタルインターフェースの規格です。DisplayPort では RGB それぞれ最大 16bit の映像信号を送信でき、また音声信号も送信することができます。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

EBU (European Broadcasting Union)

欧州および北アフリカの放送局からなる組織で、技術規格の策定などをおこなっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI コネクタや HDMI コネクタなどを經由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

Rec709

ITU-R (International Telecommunication Union-Radio communication Sector：国際電気通信連合の無線通信部門) が定義したデジタル放送 (HDTV) の基準です。

SMPTE-C

SMPTE (Society of Motion Picture and Television Engineers：映画テレビ技術者協会) が規定した規格の一つです。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

付録

商標

VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows、Windows Vista、Windows Media、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBook は Apple Inc. の登録商標です。

Adobe、Adobe AIR、Acrobat、Photoshop は Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標です。

PowerPC は International Business Machines Corporation の登録商標です。

Pentium は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD Opteron は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

GRACoL、IDEAlliance は International Digital Enterprise Alliance の登録商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2 は DataColor Holding AG の米国における登録商標です。

Spyder3 は DataColor Holding AG の商標です。

Eye-One、ColorMunki、X-Rite は X-Rite Incorporated の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。

TouchWare は 3M Touch Systems, Inc. の商標です。

NextWindow は NextWindow Ltd. の商標です。

RealPlayer は RealNetworks, Inc. の登録商標です。

NEC は日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821 は日本電気株式会社の商標です。

プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3 は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPA カラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

ENERGY STAR は米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing, LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManager は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。

C@T-one、FlexView は株式会社ナナオの日本登録商標です。

ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor Pro は株式会社ナナオの商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス

本製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000
- Restrictions on
 - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
 - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
www.tcodevelopment.com

このたびお求めのモニターには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのモニターが世界でも最も厳しい、いくつかの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 モニターにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー

一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。電氣的安全性についても求められています。

エミッション

電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメントシステムの認証を受けなければなりません。

塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されています。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。モニター分野における TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	×	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
 （企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- ・本製品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ・当社では、本製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中の場合
保証書の規定に従い、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- ・保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・お名前・ご連絡先の住所・電話番号 / FAX 番号
- ・お買い上げ年月日・販売店名
- ・製品名・製造番号
（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8桁の番号です。
例）S/N 12345678）
- ・使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS・システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・エラーコード（SelfCalibration に失敗した場合）

修理について

- ・修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- ・パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収・リサイクル体制を構築しており、お客様が本製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引取りしています。
- ・なお、詳しい情報については、当社の Web サイトもあわせて参照してください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、有償で業界団体「パソコン3R推進協会」がお引取りいたします。当社の Web サイトよりお申し込みください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

個人のお客様

PC リサイクルマークの無償提供について

本製品は、PC リサイクル対象製品です。当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様に PC リサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、次の Web サイトからお申し込みください。

マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

情報機器リサイクルセンター

Web サイト：<http://www.pc-eco.jp>

※「PC リサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PC リサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収・再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター

電話：03-3455-6107

月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9:00～17:00

